

歯科臨床早期見学実習

責任者名：紙本 篤

学期：後期

対象学年：1年

授業形式等：実習

◆担当教員

紙本 篤(総合歯科学 准教授)

関 啓介(総合歯科学 専任講師)

古地 美佳(総合歯科学 専任講師)

竹内 義真(総合歯科学 助教)

林 誠(歯科保存学Ⅱ 教授)

川戸 貴行(衛生学 教授)

黒川 弘康(歯科保存学Ⅰ 准教授)

◆一般目標 (GIO)

病院スタッフの一員として医療の現場を見学し、歯科医師と意見を交換することで、医療人としての自覚や態度を身につける。また、患者に寄り添いコミュニケーションを図ることで、患者の視点を理解する。

◆到達目標 (SBOs)

- ① 歯科医師としての職責を理解し、倫理観、責任感、品格、思いやりを持って行動できる (モデルコアカリキュラム PR-01)。
- ② 患者、生活者の心理的、社会的要因や社会背景に配慮し、尊厳を尊重し、利他的、誠実、正直、公平公正に行動できる (モデルコアカリキュラム PR-02)。
- ③ 同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して協調的にふるまうことができる (モデルコアカリキュラム PR-06)。
- ④ 歯科医師としての説明責任を果たし、インフォームド・コンセントを適切に得るために必要な能力を身に付ける (モデルコアカリキュラム GE-01)。
- ⑤ 生涯学修に向けて自らの将来を構想し、自己主導型学習により常に自己の向上を図ることができる (モデルコアカリキュラム LL-01)。
- ⑥ 医療の評価・検証とそれに基づく自らの行動を論理的、批判的に振り返り、生涯に向けた自己研鑽に取り組むことができる (モデルコアカリキュラム LL-03)。
- ⑦ 同級生や後輩、同僚、チーム構成員に対して助言、指導ができる (モデルコアカリキュラム LL-05)。
- ⑧ 患者のプライバシーや苦痛等に配慮し、適切なコミュニケーションを取ることができる (モデルコアカリキュラム CM-01)。
- ⑨ インフォームド・コンセントの意義、重要性及び必要な説明事項を理解している (モデルコアカリキュラム C-1-1-4)。
- ⑩ 歯科医師のプロフェッショナリズムを理解している (モデルコアカリキュラム C-1-2-1)。
- ⑪ コンプライアンスを遵守する (モデルコアカリキュラム C-1-2-2)。
- ⑫ 患者との信頼関係構築の重要性を理解している (モデルコアカリキュラム C-1-2-3)。
- ⑬ 患者中心のチーム医療の意義を理解している (モデルコアカリキュラム C-1-3-1)。
- ⑭ 必要な課題を自ら発見し、重要性や必要性に照らして順位付けできる (モデルコアカリキュラム C-2-3)。

- ⑮ 課題の解決にあたり、他の学修者や教員と協力してよりよい解決方法を見出し、自ら課題を解決できる（モデルコアカリキュラム C-2-4）。
- ⑯ 適切な自己評価ができ、改善のための具体的方策を立てることができる（モデルコアカリキュラム C-2-6）。
- ⑰ コミュニケーションの意義、目的及び技法（言語的、準言語的、非言語的）を理解している（モデルコアカリキュラム D-2-1-1-1）。
- ⑱ 診療室における患者の心理と行動を理解している（モデルコアカリキュラム D-2-1-1-2）。
- ⑲ 適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる（モデルコアカリキュラム E-2-1-1-1）。
- ⑳ 医療面接における基本的なコミュニケーションができる（モデルコアカリキュラム E-2-1-1-2）。
- ㉑ 患者のプライバシーに配慮できる（モデルコアカリキュラム E-2-1-1-7）。

◆評価方法

本科目が定めた一般目標および到達目標が達成できているかを、実習中の身だしなみ（20%）、実習（授業）に臨む態度（20%）、実習ごとの課題（ふりかえり用紙の内容と提出状況）（30%）、成果発表（20%）および小テスト（10%）で評価する。

- ① 身だしなみの評価は毎回の病院実習出席時に行い、その場でフィードバックする。なお、身だしなみが不適切だったものに関しては実習を中断もしくは停止する。
- ② 実習（授業）に臨む態度や遅刻・欠席等においてアンプロフェッショナルな行動があった場合、厳格に対処する。
- ③ 小テストは、A クラス（学年番号が奇数のグループ）および B クラス（学年番号が偶数のグループ）ともに、9 月 22 日（金）の授業終了時に実施する。
- ④ 小テストの出題は第 1 回の講義内容とする。
- ⑤ 小テストに対する追試験及び再試験は行わない。
- ⑥ 小テストの解説は、試験終了後に口頭で行う。

以下、本科目の評価における注意事項

- ① 定期試験は行わない。
- ② 成績評価には成績評価表示（SABC）を用い、C 評価以上で本科目の単位を認定する（C 評価以上の成績評価表示が得られなければ、本科目は履修未完了となる）。
- ③ 授業を欠席する（した）場合、学部要覧 2023 年度版に則して対応すること。
- ④ 欠席事由及び診断書などの添付書類を科目担当責任者が確認し、正当な欠席事由と判断されない場合には、アンプロフェッショナルな行動と看做し、厳格に対処する。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
紙本 篤	随時 本館 3 階総合診療科医局	kamimoto.atsushi@nihon-u.ac.jp	メールでも応談可

◆授業の方法

第 1 回～第 4 回：歯科病院の見学で求められる基本事項についての授業を対面で行う。

第 5 回～第 12 回，第 15 回～第 24 回：日本大学歯学部附属歯科病院で見学実習を行う。

第 13 回～第 14 回：歯科病院見学実習 1～4 での体験をもとに、グループワークを行う。

第 25 回～第 30 回：成果発表会を対面で行う。

歯科病院見学実習について

- ① A クラスは2～3時限目（10:00～11:50）に、B クラスは5～6時限目（13:00～14:50）に、それぞれ病院見学実習を行う。
- ② 各診療科（口腔外科、補綴科、保存科、小児歯科、歯科矯正科、口腔診断科、歯科放射線科、摂食機能療法科、総合診療科）をローテーションして見学する（A クラス、B クラスともに、6 グループに分かれて行動する）。
- ③ 病院見学実習の詳細は別途周知する。

【実務経験】 オフィスアワー担当教員も務める紙本篤は、日本大学歯学部附属歯科病院にて臨床研修指導歯科医として活躍しており、その臨床経験等の話も交えながら、歯科医師に求められる社会的態度について学ぶ場を提供できる。

◆アクティブ・ラーニング

歯科病院見学実習1～9では、少人数で編成されたグループ内で、実習で体験した内容の共有・振り返りと、その内容についてのディスカッションをする。SGDでは、それまでの実習での体験をもとに、成果発表会に向けて発表テーマを決めるためグループワークを行う。また、成果発表会1～3では、グループワークの内容をスライドを用いて発表し、他のグループや臨床実習を担当した指導教員と質疑・応答する。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	指定しない。			
参考図書	指定しない。			
授業プリント	適宜配布する。			

◆DP・CP

コンピテンス1：歯科医師としてのプロフェッショナリズム

コンピテンシー：1-1, 1-2, 1-3, 1-4

対応するディプロマ・ポリシー：DP1

コンピテンス6：コミュニケーション

コンピテンシー：6-1, 6-2, 6-3, 6-4

対応するディプロマ・ポリシー：DP6

コンピテンス8：生涯学習

コンピテンシー：8-1, 8-2, 8-4

対応するディプロマ・ポリシー：DP8

◆準備学習(予習・復習)

事前に配布されたプリント等を読んで、実習内容を把握しておくこと。

臨床実習を体験した上での疑問点や指導歯科医から求められた課題の解決に取り組むこと。

指導歯科医からのフィードバックについて真摯に振り返り自己研鑽すること。

質問は実習中に随時受け付けるが、オフィスアワーも有効活用すること。

◆準備学習時間

臨床実習内容の確認・準備と振り返りに要する時間として、2コマの実習時間に対して1時間程度の時間を確保すること。

◆全学年を通しての関連教科

第1学年

自主創造の基礎（前期）

歯科医学入門1（前期）

第2学年

歯科放射線学1（前期）

プロフェッショナリズムと行動科学（前期）

医療コミュニケーション（後期）

第3学年

歯科放射線学2（前期）

歯科臨床見学実習（前期）

歯科麻酔学1（後期）

口腔外科学1（後期）

部分床義歯補綴学1（後期）

高齢者歯科学（後期）

口腔内科学1・2（前後期）

保存修復学1・2（前後期）

歯内療法学1・2（前後期）

歯周病学1・2（前後期）

冠橋義歯補綴学1・2（前後期）

全部床義歯補綴学1・2（前後期）

第4学年

診査診断学（前期）

歯科麻酔学2（前期）

口腔外科学2（前期）

口腔インプラント学（前期）

部分床義歯補綴学2（前期）

歯科矯正学（前期）

有病者歯科学（前期）

摂食機能療法学（前期）

歯科医学入門2（前期）
 歯科矯正学実習（後期）
 歯科臨床体験実習（後期）
 小児歯科学1（前後期）

第5学年

歯科治療の多様化

最先端歯科医療学

生涯学習とキャリアデザイン

プロフェッショナルリズム

診療参加型臨床実習（前後期）

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1	A クラス	9.15	2	オリエンテーション1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科臨床早期見学実習の意義を理解する。 ・ 歯科病院での実習に際しての注意事項を理解する。 ・ 患者情報等の守秘義務を理解する。 	紙本 篤	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者をみる姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニケーション能力 C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接
2	B クラス	9.15	3 5 ～ 6				

3 , 4	A ク ラス B ク ラス	9.22 9.22	2 ～ 3 5 ～ 6	オリエンテーショ ン2 小テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・医療人に求められる態度を身につける。 ・医療人として必要な身だしなみと相応しい振る舞いを実行する。 	紙本 篤	PR:プロフェ ッショナルリズ ム GE:総合的に 患者・生活者 をみる姿勢 LL:生涯にわ たって共に学 ぶ姿勢 CM:コミュニ ケーション能 力 C-1-1 医の倫 理と患者中心 の視点 C-1-2 歯科医 師としての責 務と裁量権 C-1-3 チーム 医療 C-2 課題探求 と解決能力 D-2-1 医療面 接(病歴聴取と 医療コミュニ ケーション) E-2-1 初診時 の医療面接
5 , 6	A ク ラス B ク ラス	9.29 9.29	2 ～ 3 5 ～ 6	歯科病院見学実習 1	<ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師としての責務を理解し患者中心の歯科医療に必要な倫理観をもつ。 ・患者、患者家族、医療従事者の立場を理解・尊重し、適切な配慮（コミュニケーション）を示す。 ・自己研鑽に取り組む姿勢を示す。 ・自己を謙虚に見つめ振り返る。 	紙本篤 他	PR:プロフェ ッショナルリズ ム GE:総合的に 患者・生活者 をみる姿勢 LL:生涯にわ たって共に学 ぶ姿勢 CM:コミュニ ケーション能 力 C-1-1 医の倫 理と患者中心

							の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接
7 , 8	A ク ラス B ク ラス	10.13 10.13	2 ～ 3 5 ～ 6	歯科病院見学実習 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医師としての責務を理解し患者中心の歯科医療に必要な倫理観をもつ。 ・ 患者, 患者家族, 医療従事者の立場を理解・尊重し, 適切な配慮(コミュニケーション)を示す。 ・ 自己研鑽に取り組む姿勢を示す。 ・ 自己を謙虚に見つめ振り返る。 	紙本篤 他	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者をみる姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニケーション能力 C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接

9 , 10	A ク ラス B ク ラス	10.20 10.20	2 ～ 3 3 5 ～ 6	歯科病院見学実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医師としての責務を理解し患者中心の歯科医療に必要な倫理観をもつ。 ・ 患者, 患者家族, 医療従事者の立場を理解・尊重し, 適切な配慮 (コミュニケーション) を示す。 ・ 自己研鑽に取り組む姿勢を示す。 ・ 自己を謙虚に見つめ振り返る。 	紙本篤 他	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者をみる姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニケーション能力 C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接
11 , 12	A ク ラス B ク ラス	10.27 10.27	2 ～ 3 3 5 ～ 6	歯科病院見学実習	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医師としての責務を理解し患者中心の歯科医療に必要な倫理観をもつ。 ・ 患者, 患者家族, 医療従事者の立場を理解・尊重し, 適切な配慮 (コミュニケーション) を示す。 ・ 自己研鑽に取り組む姿勢を示す。 ・ 自己を謙虚に見つめ振り返る。 	紙本篤 他	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者をみる姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニケーション能力 C-1-1 医の倫

							理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接
13 , 14	A ク ラス B ク ラス	11.3 11.3	2 ～ 3 5 ～ 6	SGD (スモールグループディスカッション)	・ 歯科病院見学実習 1～4 での体験を説明する。 ・ 成果発表会に向けて、発表テーマを決める。	紙本篤 他	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者を見る姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニケーション能力 C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時

							の医療面接
15 , 16	A ク ラス B ク ラス	11.10 11.10	2 ～ 3 5 ～ 6	歯科病院見学実習 5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医師としての責務を理解し患者中心の歯科医療に必要な倫理観をもつ。 ・ 患者，患者家族，医療従事者の立場を理解・尊重し，適切な配慮（コミュニケーション）を示す。 ・ 自己研鑽に取り組む姿勢を示す。 ・ 自己を謙虚に見つめ振り返る。 	紙本篤 他	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者をみる姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニケーション能力 C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接
17 , 18	A ク ラス B ク ラス	11.17 11.17	2 ～ 3 5 ～ 6	歯科病院見学実習 6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医師としての責務を理解し患者中心の歯科医療に必要な倫理観をもつ。 ・ 患者，患者家族，医療従事者の立場を理解・尊重し，適切な配慮（コミュニケーション）を示す。 ・ 自己研鑽に取り組む姿勢を示す。 ・ 自己を謙虚に見つめ振り返る。 	紙本篤 他	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者をみる姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニケーション能力

							C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接
19 , 20	A ク ラス B ク ラス	11.24 11.24	2 ～ 3 5 ～ 6	歯科病院見学実習 7	・ 歯科医師としての責務を理解し患者中心の歯科医療に必要な倫理観をもつ。 ・ 患者、患者家族、医療従事者の立場を理解・尊重し、適切な配慮（コミュニケーション）を示す。 ・ 自己研鑽に取り組む姿勢を示す。 ・ 自己を謙虚に見つめ振り返る。	紙本篤 他	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者をみる姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニケーション能力 C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション)

							E-2-1 初診時の医療面接
21 , 22	A ク ラス B ク ラス	12.1 12.1	2 ～ 3 5 ～ 6	歯科病院見学実習 8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医師としての責務を理解し患者中心の歯科医療に必要な倫理観をもつ。 ・ 患者，患者家族，医療従事者の立場を理解・尊重し，適切な配慮（コミュニケーション）を示す。 ・ 自己研鑽に取り組む姿勢を示す。 ・ 自己を謙虚に見つめ振り返る。 	紙本篤 他	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者をみる姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニケーション能力 C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接
23 , 24	A ク ラス B ク ラス	12.8 12.8	2 ～ 3 5 ～ 6	歯科病院見学実習 9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科医師としての責務を理解し患者中心の歯科医療に必要な倫理観をもつ。 ・ 患者，患者家族，医療従事者の立場を理解・尊重し，適切な配慮（コミュニケーション）を示す。 ・ 自己研鑽に取り組む姿勢を示す。 ・ 自己を謙虚に見つめ振り返る。 	紙本篤 他	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者をみる姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニケーション能

							<p>力</p> <p>C-1-1 医の倫理と患者中心の視点</p> <p>C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権</p> <p>C-1-3 チーム医療</p> <p>C-2 課題探求と解決能力</p> <p>D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション)</p> <p>E-2-1 初診時の医療面接</p>
25 , 26	A ク ラス B ク ラス	12.15 12.15	2 ～ 3 5 ～ 6	成果発表会 1	病院実習での成果をグループ毎に発表し、実習を振り返ることができる。	紙本篤 他	<p>PR:プロフェッショナルリズム</p> <p>GE:総合的に患者・生活者をみる姿勢</p> <p>LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢</p> <p>CM:コミュニケーション能力</p> <p>C-1-1 医の倫理と患者中心の視点</p> <p>C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権</p> <p>C-1-3 チーム医療</p> <p>C-2 課題探求と解決能力</p> <p>D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニ</p>

							ケーション) E-2-1 初診時の医療面接
27 , 28	A ク ラス B ク ラス	12.22 12.22	2 ～ 3 5 ～ 6	成果発表会 2	病院実習での成果をグループ毎に発表し、実習を振り返ることができる。	紙本篤 他	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者を見る姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニケーション能力 C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接
29 , 30	A ク ラス B ク ラス	1.12 1.12	2 ～ 3 5 ～ 6	成果発表会 3	病院実習での成果をグループ毎に発表し、実習を振り返ることができる。	紙本篤 他	PR:プロフェッショナルリズム GE:総合的に患者・生活者を見る姿勢 LL:生涯にわたって共に学ぶ姿勢 CM:コミュニ

							ケース能力 C-1-1 医の倫理と患者中心の視点 C-1-2 歯科医師としての責務と裁量権 C-1-3 チーム医療 C-2 課題探求と解決能力 D-2-1 医療面接(病歴聴取と医療コミュニケーション) E-2-1 初診時の医療面接
--	--	--	--	--	--	--	---

担当グループ一覧表

グループ名	教員コード	教員名
紙本篤 他	1179	黒川 弘康
	1204	林 誠
	1280	川戸 貴行
	1283	関 啓介
	1341	古地 美佳
	2560	竹内 義真
	1279	紙本 篤